



6月17日（土） 晴

杉本サポーターの指導で、紅はるかと鳴門金時という品種のサツマイモの苗の植付けを体験。芋の数が多いが小芋になる「斜め植え」または数は少ないが大きな芋になる「垂直植え」を各自の判断で行いました。秋には、大きく、おいしいお芋が出来るよう願って丁寧に植えました。



次に、梅の収穫にチャレンジしました。交替で長い竹さおで枝をたたいて、実を落としました。今年も1本の木からタライ2つ分の実がとれました。収穫した梅で作った梅ジュースをいただくのが楽しみです。



昼食は、地元で採れた玉ねぎが一杯入ったハッシュドビーフとフルーツポンチ。今回もお代わりをする塾生が続出しました。

午後からは、角谷森づくり活動アドバイザーの案内で、丹波の森公苑の里山に棲む生き物を観察しました。ヒツジグサ、ノアザミ、ヒメジョオンなどが花をつけていました。



国蝶オオムラサキを育てているケージでは、エノキの葉を食べている幼虫や葉の色や葉脈など周囲の環境に溶け込んでいるサナギ、さらには羽化してケージ内を飛び交う蝶を見つけることが出来ました。幼虫や蝶を手に乗せて、じっくり観察する塾生もいました。

